

課題名：認知症対応型AI・見守りロボットを実世界へ「介護現場で人間を含むデジタルツイン」の構築を目指す研究開発

ゲオム株式会社

【機器の概要】

GROOVE X(株)が製造販売するコミュニケーション・ロボット（通称LOVOT）と認知症ケア補助 AI システム（通称DeCaAI）を連携させ、BPSDの発生をAIで予測し介護者に適切なケア方法と共に通知させる。その際、LOVOTが介護士に近寄り、介護記録の音声入力をサポートする等の機能を追加し、介護負担の軽減を目的としたデジタルツインの世界を実現する。

【機器の写真等】



重点分野名	「見守り・コミュニケーション(コミュニケーション)」	想定される使用者	介護施設の介護者、在宅介護者
事業実施年度	令和5年度～令和7年度	想定される使用環境	介護施設、家庭

【以下、本調査での追記項目】

想定する販売価格	50～60万円(税別・未定)	規格への対応	【ISO】現在では予定なし 【CEマーク・FDA】現在では予定なし ※製造メーカーとの協議が必要
国内での市場展開計画	【市場展開】 介護施設や在宅で認知症の方をケアしたい家族が対象。販売はメーカーおよび販売店にて販売を予定。	海外における医療機器としての区分	調査中 (医療機器として申請が必要な可能性あり)
海外での市場展開計画	【市場展開】 予定あり。ただし展開国の規制等を調査中。また、輸出可否についても製造メーカーと協議。	その他	